

令和2年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

石川県

行事名称	第67回文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練
実施期間・日時	令和3年1月17日(日) 8:00~
実施場所	能美市秋常町 秋常山古墳群、秋常町八幡神社一帯
主催者	能美市秋常町、能美市消防団、能美市消防本部

■実施内容

訓練の想定

秋常町八幡神社本殿の電気配線から出火炎上し、強風により神社北側及び東側にある国指定文化財「秋常山古墳群」に延焼する恐れがあると想定。秋常山古墳群が立体的かつ広大であるため、消防本部が所有するドローンを使用して延焼状況及び飛火の状況を確認する。

訓練の内容

寺井分団が管内巡回中に、秋常町八幡神社で火災が発生しているのを発見、消防指令室に出動要請を行い、消防署、消防団の連携による消火活動を展開する。

参加者及び役割分担

秋常町：現場立会い、講評

能美市消防団：防ぎょ訓練、講評

能美市消防本部：現場指揮、防ぎょ訓練、ドローン操縦訓練、講評

能美市：現場立会い

特に工夫した点

ドローンを活用して俯瞰的に延焼状況、放水体系を確認する。また、実火を用いることで、ドローンに搭載されている遠赤外線カメラを有効に活用し、小規模な飛火でも早期に発見につながる。

火災の覚知が119番通報ではなく、消防団が巡回中に火災を発見したという想定で訓練が開始。

問題点・課題

積雪時は消火栓等の水利が雪で埋まっている可能性がある。消防団、自衛消防団等と協力して除雪を行い、消火活動が迅速にできる状況を維持することが課題。

その他

能美市には様々な文化財があり、「能美ふるさとミュージアム」が昨年オープンしたことで市民の文化財に対する市民の関心は高まっていると思われる。この文化財を後世に守り繋げる意識の向上を図ることが重要である。文化財防火デーにあわせて訓練を実施することで、文化財の広報、防火意識の向上につながっていると感じる。

訓練風景

別紙参照

